



おひさま通信

NO.24

2025.10.14



青空と白い雲が、いつもよりキレイに見える10月。長かった残暑が終わり、ようやく秋らしくなってきましたね。季節の移り変わりを楽しみつつ、秋から冬に向けて衣服など調整して体調管理には十分注意してお過ごしください。

《誤飲・誤嚥に注意!!》

・好奇心旺盛な子どもの思ってもみない行動に、ヒヤリとする場面はありませんか？子どもの家の事故で上位を占めるのが「誤飲・誤嚥」です。誤飲・誤嚥対策で重要なのは、事故に繋がりにくい仕組み作りです。誤飲・誤嚥事故が起こりにくい環境を作り、未然に防いでいきましょう。

誤飲・誤嚥しやすいもの



5歳以下は奥歯が生え揃っておらず、上手にかみ砕けないことがあります。窒息や誤嚥を招きやすいため、ナッツ類は食べさせず、ミニトマトやブドウなどは4等分など細かく切って食べさせましょう。

予防のポイント

・誤飲・誤嚥するサイズ トイレットペーパーの芯の穴を通るものは、子どもが飲み込んでしまう可能性があります

最大口径は約39mm



JIS規格で38mm



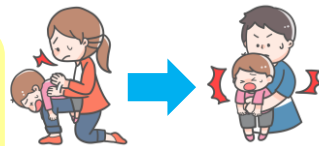
- ・小さな生活用品は手の届かない高さ（1m以上）
- ・小さな玩具は4歳から
- ・ピーナッツなどの豆類は6歳から
- ・大きな食品は小さく刻む
- ・異物を口に入れているのを発見したときは大声を出さない

- 顔面蒼白、窒息
- 意識がおかしい
- けいれんを起こしている
- 苦しそうな呼吸をしている

このようなときは、すぐに119番通報し、応急処置を行う

＜1歳以上の幼児＞

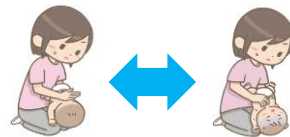
子どもをうつ伏せにして背中の肩甲骨あたりを5回ほど手の平で強く叩きます
(背部叩打法)



子どもの背中側から両腕を回し、みぞおちの前で両手を組んで勢いよく両手で腹部を上へ圧迫します
(腹部突き上げ法)
異物が出てくるまで、腹部突き上げ法を繰り返します

＜1歳未満の乳児＞

子どもをうつ伏せにして背中の肩甲骨あたりを5回ほど手の平で強く叩きます
(背部叩打法)



背部叩打法と胸部突き上げ法を繰り返す

1歳未満の乳児の場合は、腹部の臓器を傷つけるリスクが高いため、腹部突き上げ法は行わずに、子どもを仰向けにし、みぞおちに指を立てて5回ほど圧迫します
(胸部突き上げ法)

それでも窒息を解除することができず子どもの反応がなくなったら、直ちに心肺蘇生を開始し、救急隊が到着するまで続けます。周囲の人に応援を頼むことも忘れないでください。

病児保育室 おひさま



予約・お問い合わせ
☎080-5853-8500

	保育時間	保育料	昼食
1日	8:30~17:00	2,200円	希望者は別途 300円
午前	8:30~12:30	1,100円	
午後	13:00~17:00	1,100円	なし